

世 界 史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 1～9 に答えなさい。(50点)

アダム＝スミスの流れを引き、人口論を提示した古典派経済学者の（ a ）は、「何の抑制もなければ人口は、等比級数的に増加するのに対して、人間の生活物資の増え方は等差級数的である」という命題を提示している。動物は生態系が許容する範囲を大きく超えて増えることはないという意味であり、この命題に即して救貧政策よりも人口抑制策をとることが主張された。ところがヒトは、その許容量を逸脱することがある。それを可能にするのが、生活圏としている生態系の外側からモノを運び込む「交易」である。そうした交易を円滑に行うために算術や暦をはじめとするさまざまな技術が整えられるなかで巨大な集団が形成され、「文明」が生まれる。したがって歴史学において人口を論じる意義は、ヒトが文明段階に至って以降にこそ生じる。そして、支配者によって行われる住民の把握は、どのような制度によって、またどの程度の範囲で人びとを捕捉するのかに強く規定される。逆に言えば、残された人口統計から、その支配の質と範囲とを読み解くことが可能となる。（ a ）はその人口論において、イングランドの状況を中国と対比させてしばしば論じたが、それでは人口史の観点から古代中国の歴史的展開を垣間見よう。

殷を滅ぼした周は、抵抗する可能性のない在地有力者を邑の首長に据える一方、抵抗する恐れがある者を強制移住させつつ、大邑の連合体という体制をとった。こうした体制のもとでは、諸侯はそれぞれの邑の人口を王室に報告する必要もなく、人口統計といったものは存在しなかった。氏族の紐帯にもとづき秩序形成を図った殷に対し、血縁に頼らない支配体制を形成する必要が生じた周では、親族関係の規範である（ b ）をモデルとした社会序列を重視して広域的な支配を進めることとなる。こうした社会の序列のあり方を律する行動規範を総称して礼と呼ぶが、それを理論的に精緻化したのが、孔子らが唱えた儒教であった。周の人びとは、武力よりも徳によって支配の正当性を説明する一方、そうした秩序＝

「文明」に浴しない人びとは弱肉強食の未開状態に置かれていると考えた。

しかし、春秋と呼ばれる時代になると、邑を単位とする社会体制は根底から変化し始め、その過程で異文化を持った人びとが歴史の表舞台に姿を現すようになる。「戦国の七雄」と呼ばれる有力な国家のうち、長江流域にあった（ c ）や、⁽²⁾遊牧民と接し、その戦術を取り込んだ趙などもこうした勢力に起源をもっていた。これらの新興勢力は、周代に整えられた儀礼を行うことで中国文明に参入する資格を得たが、こうした新興勢力が文明に加わることで中国人口史が対象とする地理的範囲は格段に広がることとなった。

⁽³⁾諸子百家のうち法家に位置づけられ、⁽⁴⁾秦に仕えた（ d ）は、国内の戸数を把握する改革を進めるとともに、中央集権制の導入に努めたが、それが秦を強大国に押し上げるきっかけとなった。中央から派遣した官僚によって地方を治める（ e ）は、秦による統一にともなって全国にも施行されるようになった。管轄地の情報を中央に報告する義務を持つこのような官僚制の登場によって全国的な人口統計が作成される条件が整ったといえる。しかし秦が短期間で潰えたこともあり、その手掛かりは残されていない。

現存する中国最初の戸口統計は、⁽⁷⁾『漢書』「地理志」が記載する紀元後2年のものである。この統計には朝鮮半島に置かれた（ f ）や現在のベトナムに属する交趾郡なども含まれているが、中国部分を合計すると、戸数1,225万あまり、口数6,000万人あまりとなっている。こうした統計調査が可能になったのは、紀元前154年に勃発した（ g ）をきっかけにして中央集権制が進んだからであった。諸侯を地方に封じていた漢代初期には、王朝は諸侯から正確な資料を集めることができず、こうした統計を作成するのは不可能だったのである。

その後、『統漢書』に記載された西暦140年の戸口統計では、後漢の人口は約5,000万人となっており、『漢書』の統計から100年あまりで2割ほど減少している。これは⁽¹⁾新代から後漢初期の混乱期に起きた戦乱や飢饉だけでなく、流民となったり疎開したりして戸口調査で捕捉できなかった人口が多かったことや、前漢には版図に入っていた西域から後漢が後退したためと解されている。地域別に増減率を見ると、豪族が広大な土地を占有する河北や河南、山東などで3割ほど減少している一方、水運による新開地である江西や湖南、広西などでは人口が3～

4倍に増えている。これは、地方豪族による庇護を背景として戸籍からの奴婢の遺漏が生じている前者に対し、後者では階層分化があまり進んでおらず、奴婢の比率が高くなかったことが背景にあると考えられている。したがって、この時代の戸口調査における人口統計上の減少が、そのまま人口減少を意味するものではないことに注意しなければならない。

後漢の滅亡後、中国は、⁽⁷⁾魏晉南北朝時代と称される長い動乱期に入る。南朝と北朝が分立する状態から再び中国全体を統一したのは隋⁽⁵⁾であった。隋は、戸口調査の徹底によって人民の直接的把握を可能としたが、隋が行った数々の大事業は、こうした戸籍制度の充実を背景としたものであった。隋は40年弱しか続かなかったが、戸籍制度や租税制度などは、⁽⁶⁾北周から隋を経て唐に受け継がれた。⁽⁴⁾

唐代中期の8世紀半ばに行われた戸口調査からうかがえるのは、人口の比重が華北から華中へと移ったことである。これは隋末の戦乱が150年経ってもなお影響を及ぼしており、華北では激しい戦乱の影響が残る一方、華中では戦乱の避難民の受入れが進んだためと考えられている。ただし、⁽⁴⁾長江下流域の開発が本格的に進み、華北をしのぐ大穀倉地帯となるのは、宋代を待たねばならない。なお、戸籍には表れないが、唐代には、四川や貴州、雲南、広西などで推計35万戸ほどの異民族に対する間接統治が行われ、唐の勢力圏に組み込まれたオアシス都市⁽⁷⁾にも40万ほどの人びとが暮らしていたと見積もられている。

設問 1 文中の (a) ～ (g) に入る最も適切な語句を次の選択肢 1 ～ 4 のうちから一つ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。なお、同じ記号には同じ語句が入る。

- | | | | | |
|-----|----------|------------|--------|--------|
| (a) | 1. ダーウィン | 2. ベンサム | | |
| | 3. マルサス | 4. ランケ | | |
| (b) | 1. 王道 | 2. 禪讓 | 3. 宗法 | 4. 大夫 |
| (c) | 1. 燕 | 2. 韓 | 3. 齊 | 4. 楚 |
| (d) | 1. 商鞅 | 2. 荀子 | 3. 張角 | 4. 張騫 |
| (e) | 1. 郡県制 | 2. 郡国制 | 3. 州県制 | 4. 屯田制 |
| (f) | 1. 衛氏朝鮮 | 2. 高句麗 | 3. 帯方郡 | 4. 楽浪郡 |
| (g) | 1. 黄巾の乱 | 2. 呉楚七国の乱 | | |
| | 3. 赤眉の乱 | 4. 陳勝・呉広の乱 | | |

設問 2 波線部(1)の儒教に関連する事項について述べた次の文のうち、正しいものを、次の選択肢 1 ～ 4 のうちから一つ選び、番号を解答欄 I - B に記入しなさい。

1. 漢の高祖の時代、董仲舒の活躍によって儒教の影響力が高まった。
2. 漢代に儒教が重んじられるようになると、『易経』、『礼記』、『論語』など五経と呼ばれる経典が整理された。
3. 経典の字句の解釈を行う訓詁学が鄭玄らによって発達した。
4. 孟子は、人間の本性は悪であり、修養によって善の状態に達することができるとする性悪説を唱えた。

設問 3 波線部(2)の遊牧民に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字 1、(a)のみ正しい場合は数字 2、(b)のみ正しい場合は数字 3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字 4 を、解答欄 I - B に記入しなさい。

(a) モンゴル高原を支配していた突厥が騎馬遊牧民として初めて文字をつくった。

(b) 隋は、匈奴を討って東西の分裂に追い込んだ。

設問 4 波線部(3)の諸子百家に関する組合せとして正しいものを、次の選択肢 1～4 のうちから一つ選び、解答欄 I - B に記入しなさい。

1. 孫子—道家、鄒衍—法家
2. 莊子—道家、韓非（韓非子）—法家
3. 張儀—儒家、老子—道家
4. 呉子—兵家、蘇秦—墨家

設問 5 波線部(4)の秦について述べた以下のア～ウのうち、内容の正しい文はいくつあるか。正しい文の数を解答欄 I - B に数字 1～3 で記入しなさい。正しいものがない場合は数字 4 を記入しなさい。

ア. 秦王の政は東方諸国を征服すると、新たな君主の称号として皇帝を名乗った。

イ. 政治批判を行った官僚や学者が党錮の禁によって大弾圧された。

ウ. 文字や度量衡などの全国統一を進め、統一貨幣として半兩錢を通用させた。

設問 6 波線部(5)の隋について述べた次の文のうち誤っているものを、次の選択肢 1～4 のうちから一つ選び、番号を解答欄 I－B に記入しなさい。

1. 北周の楊堅は帝位に就くと、南朝の陳を滅ぼして南北を統一した。
2. 官吏登用法として、それまでの九品中正法に代わって学科試験による科挙制度を導入した。
3. 南北統一後、南朝の占田・課田制を取り入れて財政的基盤を強化した。
4. 3 度にわたって高句麗に遠征したが、失敗に終わった。

設問 7 波線部(6)に関連し、租税制度の変遷について述べた次の文①～③について、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の選択肢 1～6 のうちから一つ選び、番号を解答欄 I－B に記入しなさい。

- ① 農民からの徴兵をやめ、傭兵を用いる募兵制を採用した。
- ② 国家が成年男子に一定の土地を分け与え、その代わりに税や労役を義務づける均田制が始まった。
- ③ 所有する資産の額に応じて年 2 回の課税を行う両税法を定めた。

1. ①—②—③

2. ①—③—②

3. ②—①—③

4. ②—③—①

5. ③—①—②

6. ③—②—①

設問 8 波線部(7)のオアシス都市に関連する事項について述べた次の文のうち、誤っているものを、次の選択肢 1～4 のうちから一つ選び、番号を解答欄 I－B に記入しなさい。

1. 乾燥地域では、灌漑のためにカナートと呼ばれる人工の地下水路が作られた。
2. オアシス都市間ではラクダを用いた隊商交易が発達し、中国産の生糸が主要商品として取引された。
3. オアシスの道は、敦煌やクチャ、ホータンなどのオアシス都市を経由して東西を結んだ。
4. 各オアシス都市は互いの権益を守るために連合し、強大な遊牧国家を形成した。

設問 9 下線部(ア)～(オ)に関連する以下の問いに対する答えを、解答欄 I－C に記入しなさい。

- (ア) 後漢時代に『漢書』を編纂した人物は誰か。漢字 2 文字で答えなさい。
- (イ) 儒教の理想にもとづく封建制の実現を唱え、漢の帝位を篡奪した人物は誰か。漢字 2 文字で答えなさい。
- (ウ) 江南では貴族中心の優雅な六朝文化が栄えた。そのうち東晋の画家で画聖とたたえられ、「女史箴図」を描いたと伝えられる人物は誰か。漢字 3 文字で答えなさい。
- (エ) 北方民族鮮卑の流れをくむ北朝から隋・唐に至る諸王朝の連続性を重視して「() 国家」と呼ぶ。カッコ内に入れるのに適当な鮮卑の一派の名称を漢字 2 文字で答えなさい。
- (オ) 「() 熟すれば天下足る」という諺は、宋代に稲の生産量が増大し、江南地方が穀倉地帯となったことを表すものである。カッコ内に入れるのに適当な語句を漢字 2 文字で答えなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～9に答えなさい。

(50点)

ドニエプル川流域に居住していたと考えられるスラヴ人は、ゲルマン人の大移動後に各地に広がり、次第に南スラヴ人や西スラヴ人、東スラヴ人に分かれていった。⁽¹⁾古い歴史書によれば、9世紀に(a)が率いるノルマン人の一派が、東スラヴ人が居住する(b)を中心に国家を建設したと伝えられている。ノルマン人は(c)半島などに居住していたが、8世紀後半から造船技術と操船術を駆使してヨーロッパ各地に遠征し、商業や略奪、海賊行為を行った。さらに、⁽²⁾その一部は各地で国を建て、現地の住民に同化していった。ルーシと呼ばれた(a)の一族や家臣も東スラヴ人に同化しながら、後にキエフ公国を中心とする連合国家を形成する。その後、ルーシという言葉は、(a)らが建てた複数の公国やその領土、さらにそこに住む人々を意味する言葉としても使われるようになった。

キエフを中心とするルーシの諸公国は、ドニエプル川や黒海を利用したビザンツ帝国との交易で繁栄した。⁽³⁾10世紀の終わりにはキエフ公国がギリシア正教を国教としたことで、ビザンツ帝国から美術や建築技術が伝えられる。(b)ではバルト海方面との交易によって商工業が発達し、北ドイツの諸都市がリューベックを盟主として結成した 同盟の在外商館がおかれた。北欧諸国もこの同盟とバルト海の覇権を争い、⁽⁴⁾14世紀末にはデンマークの摂政マルグレーテの主導で 同盟(連合)を結成する。

13世紀にユーラシア大陸の東西にまたがるモンゴル帝国が形成されると、ルーシの多くの国も(d)の支配下に置かれた。ルーシを征服したのはチンギスハンの孫(e)が率いる軍である。(e)の軍はドイツ・ポーランド軍を破り、ヨーロッパに衝撃を与えた。またバルト海沿岸では、東方植民と現地住民のキリスト教化を進めた 騎士団が穀物や木材の輸出によって利益を上げ、領土を拡大した。(f)とポーランドはこの騎士団などに対抗するために14世紀後半に同君連合を形成し、15世紀初頭にはこの騎士団に勝利してバルト海東部の覇権を確立する。他方で14世紀には、(f)が急速に勢力を拡

大してモンゴル軍を破り、南西のルーシの諸公国を支配する。これによってモンゴルによるルーシの支配は、北東のルーシに限定された。

モンゴルの支配下におかれた北東のルーシでは、モスクワ公国が次第に台頭した。15世紀半ばにビザンツ帝国がオスマン帝国の攻撃によって消滅すると、ビザンツ最後の皇帝の姪ソフィアと結婚したモスクワ大公（ g ）はビザンツの後継者、正教の擁護者を名乗る。15世紀後半にはモスクワは（ b ）など北東のルーシを支配して領土を拡大し、モンゴルの支配から事実上独立した。モスクワ大公国の領土がロシアと呼ばれ始めるのはこの頃である。その後のロシアは、（ d ）の継承国家であるカザン＝ハン国、アストラハン＝ハン国などを征服するとともに、逃亡農民らが南部国境のドン川流域に形成した エ と呼ばれる自治的な戦士集団にシベリアを開拓させ、領土を拡大していった。

17世紀初頭のロシアは、冷害や飢餓、反乱、帝位僭称者の相次ぐ出現、ポーランドやスウェーデンの介入と占領が続く「動乱」の時代を迎える。1612年に義勇軍の活躍によってポーランドからモスクワが解放され、「動乱」の時代が終わると、翌年には新たな皇帝が選ばれ、 オ 朝が成立した。⁽⁶⁾これ以降のロシアは、プロイセンとともに、地域の大国への道を歩み始めることになる。⁽⁷⁾18世紀後半には、両国はオーストリアとともにポーランドを分割し、ポーランドは独立を失った。

設問 3 波線部(2)に関連して、ノルマン人に関連する次の文のなかで誤っているものを次の選択肢 1～4 から一つ選び、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

1. 10世紀に、ノルマンディー公国が建国された。
2. イングランドは11世紀後半に、ノルマンディー公に征服された。
3. 12世紀前半に、シチリア王国（両シチリア王国、ノルマン＝シチリア王国）が成立した。
4. デーン人は9世紀末にアルフレッド（大）王を破り、ノルマン朝を開いた。

設問 4 波線部(3)に関連して、ビザンツ文化に関する文X・Yと、それに該当する語句ア～エの組み合わせとして正しいものを次の選択肢 1～4 から一つ選び、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

X ドームとモザイク壁画を特色とする教会建築が有名である。

Y 12世紀にコンスタンティノーブル総主教は、キエフ大公に聖像画（イコン）を贈った。

ア. シャルトル大聖堂

イ. ハギア＝ソフィア（聖ソフィア）大聖堂

ウ. ウラディミルの聖母

エ. 最後の審判

1. X－ア Y－ウ

2. X－ア Y－エ

3. X－イ Y－ウ

4. X－イ Y－エ

設問 5 波線部(4)に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字 **1**、(a)のみ正しい場合は数字 **2**、(b)のみ正しい場合は数字 **3**、(a)(b)ともに正しくない場合は数字 **4** を、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

(a) ピョートル 1 世は、北方戦争でスウェーデンを破った。

(b) デンマーク王グスタフ＝アドルフは、三十年戦争で皇帝軍と戦った。

設問 6 波線部(5)に関連して、オスマン帝国とヨーロッパに関連する出来事と、その出来事が起こった時の君主の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢 1～6 のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

X コンスタンティノープルを占領してビザンツ帝国を滅ぼした。

Y プレヴェザの海戦で勝利した。

a. スレイマン 1 世

b. セリム 1 世

c. メフメト 2 世

1. X－a Y－b

2. X－a Y－c

3. X－b Y－a

4. X－b Y－c

5. X－c Y－a

6. X－c Y－b

設問 7 波線部(6)に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字 **1**、(a)のみ正しい場合は数字 **2**、(b)のみ正しい場合は数字 **3**、(a)(b)ともに正しくない場合は数字 **4** を、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

(a) フリードリヒ 2 世は啓蒙思想を採り入れ、富国強兵をはかった。

(b) エカチェリーナ 2 世は、農奴解放を実現した。

設問 8 波線部(7)に関連して、16～18世紀の東ヨーロッパに関連する事項について述べた次の文①～③について、古いものから年代順に正しく配列したものを次の選択肢 1～6 のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

- ① ポーランドでヤギェウォ（ヤゲロー）朝が断絶し、貴族を主体とする選挙王政に移行した。
- ② オーストリアはカルロヴィッツ条約で、オスマン帝国からハンガリーなどを獲得した。
- ③ プロイセンは七年戦争を戦い、シュレジエンを確保した。

1. ①—②—③

2. ①—③—②

3. ②—①—③

4. ②—③—①

5. ③—①—②

6. ③—②—①

設問 9 文中の

ア

 ～

オ

 に入る適切な語句を、以下の指示にしたがって解答欄Ⅱ－Cに記入しなさい。

- (ア) 空欄

ア

 に入る語句を、カタカナ 3 文字で書きなさい。
- (イ) 空欄

イ

 に入る語句を、カタカナ 4 文字で書きなさい。
- (ウ) 空欄

ウ

 に入る語句を、カタカナ 3 文字で書きなさい。
- (エ) 空欄

エ

 に入る語句を、カタカナ 4 文字で書きなさい。
- (オ) 空欄

オ

 に入る語句を、カタカナ 4 文字で書きなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

(50点)

1873年のウィーン万国博覧会開催中に、ウィーンの株式市場では株の暴落が起こり、その影響は各国に広まった。こうして欧米諸国は長期間の不況に見舞われたが、この不況下でも、ドイツ、フランス、ベルギーなどは、保護関税制度の導入^(a)によって自国の産業を保護し、工業化を推し進めた。

この不況期に欧米先進工業国では、過剰な生産力と資本を持て余した資本家が、商品の販路と資本の投下先を海外に求めるようになり、植民地獲得競争が激化する帝国主義の時代をむかえた。この時期には民衆の政治的自覚が高まって、労働運動や社会主義運動^(A)が活発化したが、領土の獲得は、こうした国民の不満を国外にそらす役割もあった。こうした海外進出の動きによって先進工業国のあいだでの対立が深まり、軍備増強の動きが強まった。その過程で、これらの国の国民のあいだでは、他民族支配を正当化する人種的、民族的な差別意識や、他国との競争をおおる好戦的な愛国主義が広がった。

1870年に勃発したフランスとの戦争に勝利して^(a)、1871年に国家統一を果たしたドイツでは、帝国宰相となったビスマルクが宗教的少数派であるカトリック勢力を攻撃した。さらに、国内東部地域に居住していたカトリック系住民^(b)を差別・攻撃して、国内多数派をまとめて、国民意識の育成をはかった。彼は労働者を懐柔するために労働者向けの社会保険制度を整備したが、社会主義政党^(c)が台頭すると、1878年に法律を制定して、このような動きを封じようとした^(d)。ビスマルクは、当初は植民地獲得に消極的だったが、1880年代になってアフリカや太平洋での植民地獲得にのりだした。さらに、ビスマルクを辞任に追い込んだ新皇帝^(j)は、積極的な海外膨張政策をとって、大規模な戦艦建造をおこなった。この時代、ユダヤ人を劣等人種として社会から排斥しようとする反ユダヤ主義運動が起こった。

ドイツとの戦争に敗れた後に成立した第三共和政期に、フランスは積極的な対外進出をはかり、1880年代には北アフリカ^(d)や東南アジア^(e)などに領土を獲得し、イギリスにつぐ植民地帝国を形成した。フランスでは不況が続く1880年代から90年代にかけて、議会政治への不満が噴出し、労働運動や社会主義運動が活発になった。一方で、ドイツとの戦争に敗れた屈辱をはらそうとして、ドイツへの報復気

運が高まり、ナショナリズムも高揚し、対独復讐を唱えて共和政を打倒しようとするクーデター未遂事件^(エ)が起こった。このような時代背景のなかで、ユダヤ人陸軍将校^(B)がドイツのスパイであるとの嫌疑をかけられ、軍法会議で有罪となり、流刑に処せられた。その後、疑いは誤りであったことが明らかになったが、軍部はこのことを認めようとしなかったので、著名な作家^(f)が「私は糾弾する！」という大統領あての公開質問状を出し、共和政支持派はこの将校の救済運動をおこない、1906年には無罪を勝ち取った。しかし、この事件も影響して、ヨーロッパに住むユダヤ人の中からは、ユダヤ人がかつて居住していたパレスチナに帰還することをめざす運動^(ホ)が始まった。

ヨーロッパでは、ユダヤ人は差別と迫害の対象だったが、フランス革命時に平等な市民権を与えられるなど、各国の社会への同化の動きを強めていた。この過程で、一部は近代工業社会に適応して経済界で成功し、また一部は、高等教育を受けて、学術の分野で画期的な成果をあげた。これまでの物理学を根本から書き換えたアインシュタイン^(g)や、人間心理に無意識の層があると考えて、精神分析学の基礎を築いた精神科医^(カ)はユダヤ人であった。

設問 1 二重下線部(A)に関連して、19世紀中頃にあらわれたさまざまな社会主義思想に関する以下の問い(ア)～(ウ)に対する答えとして最も適切なものを一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

(ア) 労働者の労働条件向上に取り組むとともに、協同組合を組織した工場経営者は、次のうち誰か。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. オーウェン | 2. コブデン |
| 3. スペンサー | 4. ルイ＝ブラン |

(イ) 労働者の自発的な結合が将来的に国家に取って代わることで、私有財産制の不平等を和らげることができると考えた人物は、次のうち誰か。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. コント | 2. プルードン |
| 3. ホネカー（ホーネッカー） | 4. ルイ＝フィリップ |

(ウ) 世界の労働者が団結して革命によって社会主義を実現することを説いた人物は、次のうち誰か。

- | | |
|-------------|---------|
| 1. カント | 2. ヘーゲル |
| 3. ベルンシュタイン | 4. マルクス |

設問 2 波線部(あ)～(か)に関する以下の問いに対する答えを、解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

(あ) この結果、ドイツがフランスから獲得した地方はどこかを答えなさい。

(い) この法律の名称を漢字8文字で答えなさい。

(う) この皇帝の名前を答えなさい。

(え) この事件の中心にいた元陸軍大臣の名前を答えなさい。

(お) この運動を主導したユダヤ人ジャーナリストの名前を答えなさい。

(か) この人物の名前を答えなさい。

設問 4 二重下線部(B)に関連して、ユダヤ教およびユダヤ人の歴史に関する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字 1、(a)のみ正しい場合は数字 2、(b)のみ正しい場合は数字 3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字 4 を、解答欄Ⅲ－Dに記入しなさい。

(1)

(a) ユダ王国は新バビロニアによって滅ぼされ、多くの住民がバビロンに強制連行された。

(b) ユダヤ人は唯一神イシスへの信仰を深めた。

(2)

(a) ユダヤ人は、植民市カルタゴを建設して、ローマ帝国成立以前から、地中海貿易によって富を得ていた。

(b) ローマ支配下におかれていたパレスチナで、ユダヤ教の戒律主義を批判したイエスは反逆者として処刑された。

(3)

(a) ムハンマドは、ユダヤ教の聖書をイスラーム教に先立つ啓示の書と見なしたため、ユダヤ教徒は「啓典の民」として信仰の自由を認められた。

(b) 第一次世界大戦中、イギリスのマクマホンは、パレスチナへの復帰をめざすユダヤ人の運動を支援することを明らかにした。

(4)

(a) 中世ヨーロッパでペスト（黒死病）が流行して社会不安が増大したさいに、ユダヤ人に対する大規模な迫害が各地で起こった。

(b) 教皇インノケンティウス 3 世が主催したラテラノ公会議の結果、すべてのユダヤ人は黄色の目印をつけることが義務づけられた。